
IVRC2010 実施計画書

(第 18 回国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト 2010)

趣旨.....	A-2
目的.....	A-2
運営組織.....	A-2
コンテスト概要.....	A-4
コンテスト詳細.....	A-5

▪ 趣旨

国際学生対抗バーチャルリアリティコンテスト(IVRC, International collegiate Virtual Reality Contest)は、若者を育てるコンテストとして1993年から開催され、バーチャルリアリティ(VR)の枠にとられない独創的で親しみの持てる作品を数多く生み出してきた。参加学生にとっては、VR システムを企画して、デバイスを自作し、完結した VR 作品を開発することにより、VR の技術をより深く理解することができる。来場者も、作品を実際に体験し、開発者とコミュニケーションできるので、VR を身近に感じることができる。

このように、IVRC は「自ら考え・学び・手を動かすことのできる」優秀な人材を育成しているのだが、同時に、その技術は地域社会や産業に対する啓蒙となっており、地域・企業・学界が一体となった 21 世紀型の教育システムと言えるだろう。

その実績は国際的にも高く評価され、世界最高峰の VR 技術の展示会 SIGGRAPH や VR アート作品の展示会 Ars Electronica などに採択されている。特に、欧州における VR の総合的なイベント、フランスの Laval Virtual との交流は深く、2003 年から相互に学生コンテストの優秀作品の招待参加を実施して、日仏学生の交流を行い、成果を上げている。

IVRC では、展示審査会をインタラクティブ東京の一環として行うことで、インタラクティブ東京に質の高い学生コンテストの作品を提供する。インタラクティブ東京組織委員会は IVRC の会計・運営に責任を持つ。

▪ 目的

自ら考え・学び・手を動かすことのできる優秀な人材の育成
バーチャルリアリティの啓蒙普及
地域・企業・学界を結ぶ、バーチャルリアリティ・コミュニティの醸成

▪ 運営組織

【主催】

インタラクティブ東京組織委員会

【後援】

文部科学省 ・ 経済産業省

▪ コンテスト概要

IVRC では、参加者は VR のシステムを開発して、ハード・ソフト両面の総合力を競い合う。

書類審査とプレゼンテーション審査を通過した優秀企画に対して制作費が補助され、実際に制作された作品は実地審査を経て、決勝大会において展示され、実演が行われる。

展示、実演される作品は、全て当日の来場者に体験可能であること。審査は作品の独創性、技術力、芸術性を評価して行われ、総合優勝した作品の SIGGRAPH への投稿を、IVRC 実行委員会が支援する。

また、決勝大会には Laval Virtual の役員が来日し、Laval Virtual Award が授与されて、翌春に開催されるフランス Laval Virtual の学生 VR コンテストにシード出場できる。また、Laval Virtual の学生 VR コンテストからは、日本人審査員が選んだ1チームが決勝大会にシード参加し覇を競う。

【応募資格】

「バーチャルリアリティ／インタラクティブ作品」を実現できる能力・熱意を持つ、学生を主体としたチーム、あるいは個人であること。

【スケジュール】

- 事前説明会

4 月中に各地で実行委員が説明会を開催する。

- 企画募集期間／プレゼンテーション審査／ビデオ審査／決勝大会

2010 年 4 月 12 日(月)	企画書募集開始	公式 Web サイト上
2010 年 4 月 12 日～5 月 14 日(金)	企画審査受付期間	公式 Web サイト上
2010 年 5 月 25 日(火)	企画審査	東京大学本郷キャンパス
2010 年 6 月 6 日(日)	プレゼンテーション審査	秋葉原 UDX
2010 年 7 月	ビデオ審査受付	公式 Web サイト上
2010 年 8 月上旬	ビデオ審査	投稿された動画を審査員が Web 上で閲覧し、コメントを行う
2010 年 8 月 23 日(月)～25 日(水)	決勝大会	日本科学未来館

【投稿方法等】

投稿方法
公式 Web サイト上にて実施 ① 参加申込書・参加条件同意書 ② 企画梗概 ③ 企画書 ④ 審査申請費用 1,000 円

▪ 【賞】

総合優勝 Grand Prix	副賞 30 万円 (SIGGRAPH2010 出展投稿サポート・搬送補助)
日本 VR 学会賞	副賞 10 万円
岐阜 VR 大賞	副賞 10 万円
川上記念特別賞	副賞 1 万円(1 チーム)
Laval Virtual Award	副賞 フランス Laval Virtual2010 学生コンテストシード出場権
未来観客賞	副賞 1 万円(すべての展示作品より観客の投票により決定)
その他協賛企業賞	昨年実績:明和電機社長賞

▪ コンテスト詳細

• 作品応募

【作品募集】 公式 Web サイト上にて実施

【応募方法】 応募は, Web によるオンライン投稿により行う。
参加者は, 応募時に審査申請費用 1,000 円を支払う。
作品サイズは 1.8mW×1.8mD×2mH 以内とする。

【事前説明会】 応募を促進するため, コンテストの詳細を参加希望者に説明するための,
事前説明会を開催する。

• 決勝大会までの流れ

【作品サイズ】 作品サイズは 1.8mW×1.8mD×2mH 以内

【書類審査】 応募企画数が 20 件を超えた場合には, 書類審査が行われる。

【プレゼンテーション審査】

書類審査を通過した企画(約 25 件)について, 企画者自身が制作意図をプレゼンテーションし, 審査される。各チームは 90 秒間 (時間厳守)のプレゼンテーションを行い, その後 90 秒程度の質疑応答を行う。企画者がプレゼンテーション審査を欠席する場合には, ビデオ投稿によって審査される。

【ビデオ審査】 各チームに, 作品を紹介するビデオを投稿してもらい, そのビデオをもとに審査員が作品の準備状況の確認を行うと同時に, 作品に対するアドバイスをを行う。

▪ 決勝大会

実地審査を通過した作品と、Laval Virtual からシード作品として参加するフランス代表学生の作品とともに、本年よりカーネギーメロン大学(Carnegie Mellon University's Entertainment Technology Center Silicon Valley Campus)の学内最優秀覇者が加わり、決勝大会で展示実演される。

審査委員会が、総合優勝と別掲の各賞を審査する。

IVRC と Laval Virtual は提携関係にあり、フランスから来日した Laval Virtual の役員によって Laval Virtual Award が選ばれ、翌春に開催されるフランス Laval Virtual に招待される作品が選定される。

作品は、多数の来場者によって体験される。尚、各チームは、企画内容を一般にむけて発表することができる。発表は、通常の学会における発表の形式で行われ、発表 や質疑応答を通して学会の雰囲気を知るとともに、研究者の卵として、自らの開発成果をオーソライズすることができる。

▪ 表彰式

決勝大会の表彰式では、総合優勝 Grand Prix を初めとする各賞が授与される。副賞として総合優勝作品の SIGGRAPH への投稿を、IVRC 実行委員会が支援する。

Laval Virtual Award は、フランスの Laval Virtual 役員が授与する。